

1 学校教育目標

人間尊重の精神に基づき、地域社会や国際社会に対応できる知・徳・体のバランスがとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

- 豊かな子 : 自分に自信をもち、友だちを大切にする子
- 考える子 : めあてをもち、意欲的に学習する子
- たくましい子 : あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが学びたくなる、明るく楽しい学校 ○ 保護者や地域の方が通わせたい学校 ○ 教職員が協働し、充実感と誇りのもてる学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分に自信をもち、友だちを大切にする子 ○ めあてをもち、意欲的に学習する子 ○ あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○ やる気を引き出し、考える授業を展開するために学び続ける教師 ○ 児童理解に努め、一人一人を大切にしている教師 ○ 謙虚で誠実であり、協働意識と危機管理意識の高い教師 ○ 保護者や地域の思いや願いを受け止め、学校教育に生かす努力を惜しまない教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

○全校児童は313名。新1年47名が入学。12学級。特別支援教室に24名、日本語教室に15名の児童が入室している。教職経験10年未満の学級担任は50.0%いる。常に共通理解のもと同一歩調で統一した指導に努めている。また、学力向上のために足立スタンダード（問題解決型学習）を基にした授業力の向上を目指している。少しずつではあるが定着してきている。児童は、明るく元気で素直である。学習面では、授業規律の徹底が図られ、前向きに学習に取り組む児童が多い。生活面では、6年生を中心とした縦割り班活動や全校遊び、クラブ・委員会活動で、協調性等が育ち、学年を超えて仲よく交流できる児童が多い。保護者、地域の方は、学校の教育活動に対し協力的である。本校出身者も多く、学校や地域に対する愛着が深い。

【前年度の成果と課題】

重点的な取組事項ー1 学力向上アクションプラン

・区学力調査通過率80%以上を目指してきた結果4月通過率は90.6%で目標を達成することができた。目標を通過できていない児童に対して、サマースクールや放課後補充教室等を実施し、個に応じた指導を積み重ね、再調査(9月)の結果、通過率は、94.9%を達成した。基礎的基本的な学力の定着させるために児童

一人一人の基礎的基本的な学力定着状況を把握しながら、「子どもの思考の流れを大切にした授業づくり」に心がけ、授業を中心として学力の向上に努める。

重点的な取組事項－2 規律ある行動・健康な体づくり

- ・体力テストの結果から、特に「持久力」「瞬発力」「柔軟性」に課題がある。来年度は、体育朝会・体育的活動の内容を見直し、具体的な手立てをもって計画的に指導にあたる。健康な体づくりのために、保健・食育指導も大切である。養護教諭・栄養士と連携した指導をさらに充実していく。
- ・規律ある行動を目指した取組は成果をあげている。特に、年間を通して教員や児童による挨拶活動を実施してきたことにより、明るく笑顔で挨拶をする児童が増えた。保護者会の場やHP・学校だより等を活用して、保護者・地域の方への情報発信の方法を工夫し、連携を強化していく。

重点的な取組事項－3 豊かな心の育成

- ・「学校は楽しい」自己評価93.3%、「自分にはよいところがある」自己評価87.6%で設定目標を達成した。今後も、児童の自己肯定感・自尊感情を高めるために、自分のよさや友達のよさに気づく教育活動を重視していく。また、教員の人権感覚を磨き、児童に寄り添いながら豊かな心を育てる指導を進めていく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	規律ある行動・健康な体づくり	○	○	○	○	○
3	豊かな心をはぐくむ	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン		
A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
基礎的基本的な学力の定着 学習習慣の定着	○区学力調査目標 通過率 80%以上 ○年度末到達目標 通過率 70%以上			

B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続・改善	朝学習 (保木間 タイム)	全児童 国語 算数	毎週火 (漢字) 毎週水 (読解) 毎週金 (算数) 20分	【指導者体制】 担任＋専科 【取組みのねらい・目的】 学習内容を定着させる。 【使用教材】 漢字ドリル、読解ドリル、 AIドリル等	定着度確認 テスト (2月実施)	2月に実施する 定着度確認テストで目標値を通過する児童 70%以上			
2 継続・改善	放課後 補充教室 (全教職員)	全学年 算数 正答率 70%未満	毎週 木曜日 放課後 30分	【指導者体制】 担任＋専科 【取組みのねらいと方法】 ・前学年までのつまずきに応じた個別指導や少人数指導を実施する。 【使用教材】 プリント教材等	定着度確認 テスト (2月までに 実施)	2月までに実施する定着度確認テストで目標値を通過する児童 85%以上			
3 継続	サマー スクール	全学年 算数 各学年 約10名 程度	全学年 算数 各学年 約10名 程度	【指導者体制】 全教員 【取組みのねらい・目的】 前学年までのつまずきや現学年の授業で理解が十分でない内容を指導する。 【使用教材】 AIドリル、プリント教材等	定着度確認 テスト (12月までに 実施)	12月までに実施する定着度確認テストで目標値を通過する対象児童 85%以上			
4 改善	授業力 向上	教員	年間	【取組みのねらい・目的】 管理職、教科指導専門員による授業観察・指導をする。 校内研究授業 年6回	授業 アンケート 授業研究実施	授業アンケート 肯定的評価 80%以上 研究授業 6回			
5 継続・改善	ICTの活用	全学年 全教科	年間	【指導体制】 全教員 【取組みのねらい・目的】 授業や学力向上の取組にICTを効果的に活用する。 教員一人一人が目標を設定して活用する。	活用 アンケート (教員)	目標達成 80%以上			

6 継続・改善	家庭学習の定着	全児童	毎日	【取り組みのねらい・目的】 家庭学習の定着を目指す。 各学年に応じた目標時間の設定・目標時間に応じた課題を提示する。	宿題提出 状況調査	宿題提出率 90%以上			
------------	---------	-----	----	--	--------------	----------------	--	--	--

重点的な取組事項－２	規律ある行動・健康な体づくり
-------------------	----------------

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
規律ある行動・健康な体づくり	○生活ふりかえり 自己評価 85%以上 ○体力・運動能力調査結果が 区・都平均に近づける			

B 目標実現に向けた取組み				
----------------------	--	--	--	--

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力や運動能力の向上	○外遊びをする 自己評価 90%以上 ○体力・運動能力調査結果が前年度を上回る。	○外遊びの奨励 ○エンジョイタイムの実施 ○体育指導技術向上研修 ○養護教諭・栄養士による健康・食育指導			
規律ある行動	○生活ふりかえり (朝の準備、そうじ、挨拶・返事、時間を守る) 自己評価 85%以上	○学級・学年・全校での指導の徹底 ○生活習慣調査(年3回) ○生活振り返りカード(年3回)			

重点的な取組事項－3		豊かな心をはぐくむ			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感・思いやりの心を育てる		自己肯定感に関する調査 自己評価85%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感の向上	○学校が楽しい 自己評価 90%以上 ○よいところがある 自己評価 80%以上	○ふれあい月間の取組 (年3回) ○道徳授業の充実 ○全校朝会で活躍の賞賛			
思いやりの心を育む	○異学年活動や 児童会活動は楽しい 自己評価 90%以上	○縦割り班活動の充実 ・縦割り班遊び ・縦割り班清掃 ・縦割り班あいさつ運動 ・全校学習 ○委員会・クラブ活動の充実			
読書に親しみ、 豊かな心を育む	○読書は楽しい 自己評価80%以上	○読み聞かせの実施 ○読書月間実施(年2回) ○図書館支援員との連携			

<p>教員の 人権感覚を磨く</p>		<p>○人権プログラムを活用したミニ研修の実施</p> <p>○人権教育研修の伝達講習会の実施</p> <p>○特別支援教育研修の実施 (特別支援教育コーディネーター)</p>			
------------------------	--	--	--	--	--

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他(学校教育活動全般について)